

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月14日更新

事務事業名	食生活改善推進員協議会支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	矢幡 茜
	基本事業	43	病気にならない生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	2132
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑩		
	一般	4	1	4	10357		コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・食を通じた健康づくりを推進している食生活改善推進員協議会(自主団体)を支援する事業・旧西合志町住民からの声で、平成6年に町が支援して自主団体として立ち上がる。合併により、合志市全体に活動範囲を広げる。・合併により活動範囲を合志市全体に広げるため、平成18、20、21、23年度に食生活改善推進員養成講座を実施した。また、平成25年度食育教材レシピ集発行に向け準備をしている。食生活改善推進員、現在50名で活動している。
【業務の流れ】	食生活改善推進員協議会の事務局として、総会・役員会・レシピ編集会議・推進員の学習会の支援や通知発送、推進員活動(教室時の手作りおやつ、糖尿病予防教室、親子料理教室、各地区料理教室、祭りへ出店、学校への伝承料理教室、男性料理教室等の開催等)の支援。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	食生活改善推進員協議会主催の教室(男性料理教室、親子料理教室等)に参加された市民からは、「このような活動を広げて欲しい」「推進員の活動により食の大切さを感じた」など、良い意見をたくさん聞いている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 24年度同様、総会、役員会、推進員学習会、教室時の手作りおやつ、各種教室の開催、及び祭りへの出店の支援を行う。また、レシピ集の作成を行う。食生活改善推進員養成講座を6回実施する予定。
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) 総会(4月)、役員会(11回)、レシピ編集会議(2回)、推進員学習会(6回)、教室時の手作りおやつ(6回)、各種教室等の開催(20回)の支援を行った(9月現在)。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア:活動回数 イ:	(単位) 回 予算の主な増減の理由 これまでの活動成果としての食育教材レシピ集作成のための印刷製本費の増。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 食生活改善推進員協議会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア:推進員の数 イ: 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健全な生活習慣を身につける	③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア:達成できた事業の割合 イ: %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 推進員が健全な生活習慣を身につけ、その勉強した成果を地域住民に広げることができることを目的として、推進員は活動をしているため、成果の指標として、達成できた事業の割合とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
①	活動指標	回	63	59	70	63	70	70	70	70	
②	対象指標	人	47	52	60	50	60	60	60	60	
③	成果指標	%	80	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	327	300	300	300	679	300	300	300
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	1	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	115	100	220	150	220	220	220	0
(B)人件費計	千円	473	403	888	610	888	888	888	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	800	703	1,188	910	1,567	1,188	1,188	300	

事務事業名	食生活改善推進員協議会支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 食生活改善推進員の数が少なくなってきているため、平成25年度は、養成講座を実施し、人数の増をめざす。 活動回数は、年々増えてきているが、さらに、活動の周知をしていく必要がある。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成25年度は食生活改善推進員養成講座を6回実施する予定。 これまでの活動成果として食育教材レシピ集を発行するため、活動をしている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 推進員の活動が円滑にいくよう、推進員自身の意識や知識を高めるための学習会を実施していく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託料の金額が適切であるか他団体や他市町村と比較をしていく必要がある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 自主団体であるため、推進員自身でもっとできることはないか検討していく必要がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 住民の依頼により、各種教室の開催や健康教室等の支援を行うことができる。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 自主団体であるため、推進員自身でもっとできることはないか検討していく必要がある。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地域から料理教室等の依頼も多く、月に数回実施している。また、自主活動として地域での健康づくりの料理教室を開催している。自主団体であるため、推進員自身でできることがないか、今後検討をしていく必要がある。
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						